

特集 Aldio

スマホが無線に

スマートフォンを無線機の代わりに使用。持ち運びの負担が少なく「グループ通話」「音声のテキスト化」「位置情報の確認」などの機能を持ち、迅速に情報共有できる。警備業界にとって品質向上と効率アップに貢献するスマホP無線サービス「Aldio Enterprise(アルディオエンタープライズ、以下Aldio)」を開発、販売するシヤンス・アール(東京都新宿区、平岡秀一社長)を取材した。

このサービスは免許申請等の必要はなく、スマホやタブレットにアプリをインストールしてログインすれば、IP無線(携帯電話網を使ってデジタルデータや音声通信を行う業務用無線)として利用できる。「Aldio」の持つ豊富な機能について、アートディレクター・伊藤氏と営業本部・加納氏(右)に解説してもらった。



解説する伊藤氏(右)と加納氏

操作は簡単で、画面中央の大きなボタンを押しながら会話する。警備で使用する場合にはスマホは制服に格納し、オフショア販売されているスピーカーカメラやイヤホンマイクを使う。インターネットがつながる環境であれば、国内外を問わずどこでも使用可能で、多くの機能を持つ。

可能だ。「音声テキスト化」機能で即座に文字に変換して画面に表示できる。音声とテキストはどちらもサーバーに保存される。再生して誰がいつどのような指し出しをしたか確認することができ、報告書や日報作成時に参考になる。音声は、最新の音声認識技術によりクリアな音質で聞くことができる。



中央のボタンを押しながら話せばグループ通話できる



オプション販売の有線イヤホンマイク(左)とBluetoothスピーカーマイク。いずれも防水防塵機能がある

国内特許取得済みだ。翻訳は14言語(日本語、英語、中国語、ベトナム語、タイ語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語、インドネシア語、フィリピン語)に対応する。例えば施設内で中国語を話している中国人に「Aldio」を介して案内係と話してもらおう。中国語は日本語に変換されて案内係に届き、案内係の日本語は中国語に翻訳されて返信される。中国人を案内所まで連れて行く必要がなく、警備の質と効率のアップにつながる。

ネット回線で情報連携 警備の質・効率をアップ

「Aldio」は、緊急時の連絡手段としても有効だ。音声回線より通話制限がかかりにくいインターネット回線を利用していることから災害発生時にもつながりやすく、迅速な情報共有ができる。避難勧告などの警報が発令されているエリア内のユーザーに向けて避難指示を出すことが可能で、BCP(事業継続計画)対策に適している。

「位置情報確認」は、ユーザーが画面に表示した地図上のどこにいますか確認できる機能。ユーザーは赤いピンで示され、ピンを動かすとユーザー名を表示する。地図上に枠で囲った範囲内に限定して一斉送信できる「MAP通話機能」もある。

「動態管理」機能によりパソコン画面から「E」ではなく「E」によるユーザーの行動確認が可能で、巡回警備のルート記録やより効率的なルートの検討などに活用できる。

「Aldio」は、緊急時の連絡手段としても有効だ。音声回線より通話制限がかかりにくいインターネット回線を利用していることから災害発生時にもつながりやすく、迅速な情報共有ができる。避難勧告などの警報が発令されているエリア内のユーザーに向けて避難指示を出すことが可能で、BCP(事業継続計画)対策に適している。



音声はリアルタイムでテキスト化と翻訳が可能

「Aldio」が持つ機能

機能	内容
グループ通話	通話ボタンを押して、グループ内のユーザーへ一斉発信ができる
個別通話	指定したユーザーだけに発信できる
双方向通話	複数人が通話ボタンを押して同時に発信できる(音声を重ねて拾える)
マルチグループ受発	他のグループの会話を複数同時に聞くことができる
通話履歴の再生	サーバーに保存された通話データを、後で再生することができる
チャット	テキストを送受信することができる
位置情報の確認	ユーザーの位置情報を確認することができる
企業間通信	複数企業・組織間での通信ができる
音声テキスト化	通話した音声テキスト化される
パラレル翻訳	通話内容を相手の言語に合わせてリアルタイムに翻訳する
MA P通話	MA P上の範囲内にいるメンバーに一斉発信できる
アプリ設定一括管理	PCの管理コンソール上でスマホアプリの設定を管理者が一括管理できる
動態管理	PCの管理コンソール上でグループ内のユーザーの位置情報や行動履歴を確認できる
ユーザー&グループ	管理者がユーザーやグループを設定し管理できる
強制ログアウト	ログイン中のユーザーを強制的にログアウトすることができる
通話自動切替	通話を開始してから自動で発信を停止するまでの時間を設定できる

「失言が多いせいかわ、あまり注目されなかったが先月、ワシントンで行われた主要国財務相・中央銀行総裁会議(G20)後の麻生財務相発言には、「おや」と思わせるものがあった。発言は以下の通りである。

「米中貿易摩擦に関しては多分トランプが再選。その中でも一回仕切り直して交渉が始まる。トランプになっちゃうってことをある程度前提に、こっちも考えておかないと。」

この発言の面白さは、全米の関心が大統領選に絡むロシア疑惑捜査報告書に集中していたタイミングに、発言内容であるワシントンで行われた点だ。そして、この発言が麻生氏の考えというより、彼が会ったトランプ財務相はじめ共和党内幹部が事態をどう見ているかを反映したホット情報と思われるからだ。

トランプ疑惑に閉じて簡単にまとめること、捜査報告書の結論は「限りなくゼロに近い」という点である。捜査は2018年大統領選でトランプ陣営、トランプ個人とロシア政府との間にヒラリー候補に不利な情報を流布する共謀はあったのか、トランプ大統領候補に近づき、これらの捜査を妨害した事実はあるのか、について行われた。

「知」に備えあれば 河内孝の複眼時評 憂いなし トラUMP大統領のピンチとチャンス 疑惑追及と再選レースの行方

「知」に備えあれば 河内孝の複眼時評 憂いなし トラUMP大統領のピンチとチャンス 疑惑追及と再選レースの行方

「知」に備えあれば 河内孝の複眼時評 憂いなし トラUMP大統領のピンチとチャンス 疑惑追及と再選レースの行方

「知」に備えあれば 河内孝の複眼時評 憂いなし トラUMP大統領のピンチとチャンス 疑惑追及と再選レースの行方

「知」に備えあれば 河内孝の複眼時評 憂いなし トラUMP大統領のピンチとチャンス 疑惑追及と再選レースの行方

「知」に備えあれば 河内孝の複眼時評 憂いなし トラUMP大統領のピンチとチャンス 疑惑追及と再選レースの行方

空港保安「にしけい」が活用 「にしけい」(福岡市、折田康徳社長)は、今年4月から「Aldio」を導入した。空港内で、保安警備業務に活用している。イヤホンマイクを使用し、手荷物検査場で警備員同士やバックヤード、警備本部との連絡を情報共有しながらグループ通話を行っている。通話履歴の再生機能により、接客で無線を聞き逃した際などの音声確認にも活用している。

「にしけい」(福岡市、折田康徳社長)は、今年4月から「Aldio」を導入した。空港内で、保安警備業務に活用している。イヤホンマイクを使用し、手荷物検査場で警備員同士やバックヤード、警備本部との連絡を情報共有しながらグループ通話を行っている。通話履歴の再生機能により、接客で無線を聞き逃した際などの音声確認にも活用している。

「にしけい」(福岡市、折田康徳社長)は、今年4月から「Aldio」を導入した。空港内で、保安警備業務に活用している。イヤホンマイクを使用し、手荷物検査場で警備員同士やバックヤード、警備本部との連絡を情報共有しながらグループ通話を行っている。通話履歴の再生機能により、接客で無線を聞き逃した際などの音声確認にも活用している。

「にしけい」(福岡市、折田康徳社長)は、今年4月から「Aldio」を導入した。空港内で、保安警備業務に活用している。イヤホンマイクを使用し、手荷物検査場で警備員同士やバックヤード、警備本部との連絡を情報共有しながらグループ通話を行っている。通話履歴の再生機能により、接客で無線を聞き逃した際などの音声確認にも活用している。

「にしけい」(福岡市、折田康徳社長)は、今年4月から「Aldio」を導入した。空港内で、保安警備業務に活用している。イヤホンマイクを使用し、手荷物検査場で警備員同士やバックヤード、警備本部との連絡を情報共有しながらグループ通話を行っている。通話履歴の再生機能により、接客で無線を聞き逃した際などの音声確認にも活用している。